

表紙の説明

東京スカイツリーと鯉のぼり

池上 均 陸自73

夫婦で浅草寺へのお詣りついでに、近くの東京スカイツリーに足を延ばしました。丁度ゴールデンウィークで、スカイツリーを見上げると、五月晴れの澄んだ青空に大きな鯉のぼりが泳いでおりました。

「屋根より高い鯉のぼり 大きな真鯉はおとうさん…」と小学生のころ、音楽で習いましたが、五月晴れの空には欠くことの出来ない日本の風物詩です。

鯉のぼりの由来は中国の黄河上流に竜門という難所があり、そこを登った魚は竜になれるという登竜門伝説があります。そこで男子が誕生するとその健やかな成長を願って家庭で飾るようになりました。

江戸時代は黒色の真鯉だけでしたが、明治に入ると赤い緋鯉が加えられ、昭和になると、子供を表す青い子鯉が添えられました。

東京スカイツリーは平成24年に完成した高さ634mの世界一の電波塔であります。その構造設計には日本古来の五重塔の「心柱制振」技術を利用されており、高さも武蔵国の「ムサシ」を語呂合わせされたと言われております。

今年は新型コロナウイルスの流行でまともな花見も出来ず、寂しい春を迎えています。せめて日本古来の伝統でもある鯉のぼりを飾って明るい日本を描きたいものです。